

# ゆりかご 園だより

4期の・表現活動を通じ心を育てよう  
ねらい・卒園・進級を期待しよう。

## 新年おめでとうございます

旧年中は園運営へのご理解・ご協力  
に心よりお礼申し上げます。

今年もどうぞよろしくお願ひ致します。

2023・1・1



謹  
賀  
新  
年



ゆりかご以外の方には耳慣れない行事に『つくってあそぼう』があります。

12月上旬に開催し、1日目は4歳児が、2日目は5歳児が自分たちのあそびに他クラスを招待してくれます。この行事は保育参観も兼ねていて、2日目の夕方は保護者にも参加してもらっています。空き箱などの廃材の収集に協力いただきその作品(?)を見ていただく機会にもなっていますし、乳児の保護者たちにも幼児の子どもたちを見ていただくことで、数年後のわが子の姿に思いをはせる方もいるようです。

0歳児期の手を握る→指でつまむへの発達を促すあそびは、1歳児期での衣服の着脱やスプーン・フォークを使っての食事など、自分のことは自分でするという生活習慣の確立へとつながります。それらの力は幼児期になると自分たちの生活を豊かにする道具づくりや食べものづくりへと発展していきます。それぞれの年齢に合った題材、ねらいをもち、ものづくりの力を育てています。作りだすことに喜びを感じる心と手指の力が一緒になるとステキなものが作りだせます。そうして作られたものがさらに子どもたちのイメージをふくらませあそびや生活を豊かにします。

今年の4歳児は「みんながあつまるとはんやさん」として流しそうめんや回転ずし、釣りはちなどが登場し、それぞれが役割を担って奮闘していました。お客が途切れ、一息ついた時にYくんが「今日運動会みたいだね」とつぶやきました。なぜそう思ったのか聞いてみると、「みんながとってまががんばっているし楽しいから」ということでした。なるほど！運動会も『つくってあそぼう』も長期的なとりくみの中で目的や目標に向かって各々が努力します。運動会では大人や仲間の支えでできなかったことができるようになって自信をつけ、この『つくってあそぼう』ではその力が仲間と響き合って、個の力が集団の力へと発展するように思います。

今年度の『つくってあそぼう』はコロナの影響で例年のようにはいかず、夕方の参観は制限を設けざるを得ませんでした。多くの父母や祖父母、兄弟に楽しんでもらえるのを子どもたちだけでなく職員も楽しみにしていたので残念でした。

新しい年が明けました。今年こそ子どもたちが楽しみにしている行事が例年通りに開催できることを願います。